

広報

# たっこ

2013  
平成25年

11



## 9千人が来場

第28回にんにくとべごまつりが盛大に開催され、多くの来場者がバーベキューやステージイベントを楽しみました。

### CONTENTS

- 議会だより…………… 2
- 今月の話題…………… 6
- トピックス…………… 8
- お知らせ…………… 9
- 公民館情報…………… 10
- 図書館情報…………… 11
- 情報スクランブル…………… 12



たっこにんにく  
イメージキャラクター

# 平成25年度第3回(9月)定例会

第3回定例会は9月6日から12日までの7日間の会期で開かれ、町長の提案理由が示されたあと、条例改正案や平成25年度補正予算案等全13件を審議し、原案どおり可決しました。

一般質問の概要は、次のとおりです。

※掲載は要旨のみ、全文ではありません。

## ★一般質問

### ◎田子町の水について



●千葉健一郎議員

水道特別委員会を提案、設置したが勉強会が行われていないため町長の考えを伺います。

### ▼山本町長

田子町の水の活用については、昭和52年4月から6千万円で、平成23年4月からは2千万円で青比良水系の水を八戸圏域水道企業団に供給している。近隣町村に対しても協議しながら、田子の水を供給したいと思



●山本晴美町長

う。平成19年当時、飲料水に対する関心もひとときわ強くなり、ミネラルウォーターの需要が高まることから予想され、町としてペットボトル製造について検討している。工場を建設すれば、建設費等総額約1億円の経費が必要となること、ペットボトル1万本生産の場合、2Lでは1本あたり97円の生産コストが必要なことについては、当時の議員の皆様様に説明している。

6月議会において、議員全員で構成する田子町水道事業に関する調査特別委員

会が設置されたことから、水の直接販売やペットボトルの生産販売など水の活用について、八戸圏域水道企業団の方からおいで願ひ、ご教授いただく勉強会を開催する計画を委員会と協議していききたい。

### ◎にんにく振興について



●宇藤大介議員

①オリジナル品種の供給予定年度、JA八戸との提携等どのように考えているのか伺います。

### ▼山本町長

オリジナル種子の供給範囲・供給規定などについては、現在ある品種選定委員会のような生産者、有識者等により具体的な方策を協議いただける組織を構築し、供給開始までに安定供給を可能とする体制を作り実施したい。

JA八戸については、種子供給事業についても栽培管理指導等の技術的・情報的な面で引き続きご協力をいただけるよう協議していきたい。

また、生産者への遊休農地等の斡旋については、後継者不足等で保全管理されている農地は一部であるため、現在、策定中の「人・農地プラン」により担い手農家などへの利用集積を図り、今後さらに、町農業委員会と一体となり取り組んでいきたい。

②にんにく乾燥時の燃油への助成について伺います。

### ▼山本町長

にんにく収穫後、ほとんどの生産者個々の作業小屋等で強制乾燥処理を行い、農作業で使用する燃油代がかさんでいる。全体の20%、57名の生産者がJA八戸へ強制乾燥処理の業務委託をしている。

これらの現状を踏まえ補助割合や定額補助、緊急性及び公平性等の観点から調

査し、近隣町村の動向も見極めながら農業全般への支援について検討したい。

また、農業資材全般や家畜飼料等も高騰し、農業経営全体を圧迫する状況であることから、今後、町の農業振興全般にわたってどのような支援が必要であるか十分調査、研究を重ねていきたい。

③六次産業化を見据えた多目的施設とガーリックセンターとの関連など、今後の指針・展望を伺います。

### ▼山本町長

六次産業化を見据えた多目的施設について、田子町では、農畜産物の生産だけでなく、加工・流通を取り込んだ六次産業化を推進し、農業所得向上と新たな産業の掘り起こしを目的とし、関係する諸団体を中心とした「田子町農産物美人華プロジェクト委員会」を発足させている。美人華プロジェクトの「美人」とは、「うつくしい」だけでなく「すばらしい」「優秀な」と



④病虫害対策について今日

いう意味を持ち、田子町の卓越した「技」を持った農家が育てた農畜産物を「知恵」と「愛情」を注ぎ「華のある商品」として誕生させることを意味している。

また、県内外の先進地事例視察や六次産業化プランナーなどを講師に研修会・活動を通じて、田子町に合った六次産業の姿を描き、既存施設の活用、新たな施設が必要なのか、委員会では要望や意見を踏まえて支援したい。

までの取り組みと今後の対応を伺います。

▼山本町長

これまでの緑土と土壤消毒処理等の試験により一定の被害軽減効果は確認することができたが、せん滅方法は確立されておらず、イモグサレセンチュウ対策としては防除しかなない状況である。

防除方法は、汚染ほ場からの被害拡大防止、早期収穫及び乾燥処理、高温乾燥処理による被害軽減等が一般的である。

野菜研究所の

研究成果では、高温処理をすることが最も被害の軽減効果が得られると報告がある。

高温処理施設は町内に2つあり、生産者負担の軽減措置として高温処理施設使用料に対して、350万円の補助事業を9

月補正により実施し、管理団体へ施設利用料の補助を実施することにより得られる効果は、生産者の経費軽減、腐敗軽減、製品率の向上等があげられる。

今年度は、三八地域県民局とJA八戸とが共同で、町内ほ場で試験を実施している状況であり、今後、さらに関係各機関と情報交換等、関係を密にし、イモグサレセンチュウ対策に努めたい。

◎入札不落の件について



●沢口博二議員

事実経過、具体的内容過去の件数等、今後の改善策について伺います。

▼山本町長

平成25年度当初予算の学童保育施設建設工事については、55坪で2805万円、坪51万円で計上した。

その後、7月18日の臨時議会において物価上昇分として140万3千円増額し、予算額を294万5千円とした。

そして、7月30日に町内の業者6社による入札会を行い、1回目の入札書最低価格が3800万円、2回目の入札書最低価格が3600万円、3600万円で落札に至らなかった。不落となった原因は、予算額の範囲内にするために厳しく積算したこと、予算計上等におけるチェック体制が不十分だったためである。

また、過去の不落については、平成14年度の予定価格公表以後、平成24年度入札執行の4件と今年度の1件である。このうち平成24年度の4件については、予定価格と入札価格の差が少額であることから、最低入札業者と協議して見積書の提出により随意契約とした。

今後は、施工条件明示の詳細化、工事費内訳書等の収集・分析も含めて、総合的に不落対策の改善策を検討していきたい。

◎衣更地区の堆肥場建設について

衣更地区自治会より協力が要請が出されていると聞か、どのように対応したか。今後どのように対応するか伺います。

▼山本町長

衣更自治会から衣更地区への堆肥置き場施設造成の中止命令にかかる指導尽力の要望が出され、事実確認をしたところ、三八地域県民局畜産課では、町外の堆肥販売業者から聞き取り調査を行い、堆肥舎としての基準を遵守するよう指導、助言を行っている。その後、現地調査を行い、堆肥舎として基準を遵守するよう指導、助言を行った。

町の対応としては、施設造成にかかる中止命令等の権限はないが、地域住民から不安の声が挙がっていることから、町外の堆肥生産販売業者に連絡をとり、住民説明会の要望があった場合、今後、堆肥舎が適正に

使用されているか等について、三八地域県民局等から情報収集しながら、衣更自治会と堆肥舎所有者等が相互に理解を深めていくよう努めたい。

◎職員採用の改善について

改善の意向をどのような方向で検討中であるのか。また、試験につき公表するか伺います。

▼山本町長

職員採用の改善について、平成25年度から新たに職員採用選考機関として町職員採用選考委員会を設置している。同選考委員会において町で設定した基準点等要件に照らし、その評価を実施する。

また、筆記試験に係る点数の公表については、他人に公表することがそぐわない内容であること、受験者数が少数のため公表することにより個々の点数が推測されるおそれがあることから、公表できないものと考ええる。受験者数及び合格者

数については、他町村の例を参考に今後、公表する方向で検討している。

◎東日本大震災やゲリラ豪雨など予想しがたい災害に対しての備え、取り組みについて伺います。



●尾形憲男議員

▼山本町長

防災について、近隣自治体及び各種団体との協定締結を進めており、県内の各市町村間をはじめ、八戸地域広域圏、二戸地区広域圏及び久慈地区広域圏の三圏域間で、人員、資機材及び物資の提供について協定を結んでいる。

備蓄関連は、避難拠点となる中央公民館など町内4施設に、平成23年度は発電機及び照明器具を配備。年内に、災害救助用毛布を配備、合わせて今年度、太陽

台風18号で増水した杉倉川



光発電システム整備事業に着手しており、中央公民館及び上郷公民館に整備することにより、避難拠点施設の電源確保が計られることになる。

また、多くの住民が防災への関心を持てるよう、意識高揚のための広報、情報提供を行いながら、自主防災組織の育成・強化に向けて各自治会との連携を進めていきたい。

◎学校教育について

中高一貫教育の狙いはどこにあるのか伺います。

▼山本町長

昨年の県立高等学校教育改革第3次実施計画(後期)に関して、田子高校は単独校として存続することができた要因として、今では県内唯一となった田子地域での連携型中高一貫教育導入による多彩な成果があげられる。進学及び就職の実績、郷土芸能部をはじめとする部活動の優秀な成績、郷土理解と郷土愛を醸成し地域との連携を密にしていくなかで体験学習とボランティア活動など、その成果は大きいものがあると考え、田子高校の大きな特色である連携型中高一貫教育は堅持し、支援していきたい。

また、学校保健会や町連合PTA、幼保と小学校連携会議、小中連携部を設置の研修会を実施するなど、各学校との連携を密にしなから、幼保小中高までの教育の充実と、次世代をたく

ましく生きぬく力を醸成したい。

▼宇藤教育長



●宇藤裕夫教育長

田子地域では、中高一貫教育を導入した時から「中高一貫教育研究委員会、協議会」の委員には、幼稚園長、小学校長も入っており、小学校と高校の連携について話題になり、小学生への学習支援に、高校生・卒業生が赴き、学習支援・交流を図っている。

また、個に応じたきめ細かい指導により、卒業時の進路決定100%は、中高一貫教育導入後も続いており、進学に関して国公立大学の場合は、県内でも1、2位で県教委でも高く評価している。中高の丁寧な指導の中で伸びていると考えられ、町を挙げての、小中高と継続しての指導の賜といえると思う。連携型中高一貫教育の実

施に伴い取り組んできたことは、田子中学校、田子高校にとって、大きな財産・特色である。

◎一部事務組合について

塵芥・環境事務組合の施設が老朽化、今後の計画と町民負担を伺います。

▼山本町長

ごみ処理については、三戸地区塵芥処理事務組合が、し尿処理と火葬場については、三戸地区環境整備事務組合がそれぞれ行っている。

両事務組合の施設の老朽化に伴う修繕等については、三戸地区塵芥処理事務組合のクリーンセンターを平成27年度から28年度までの2年間に大規模修繕を計画している。

三戸地区環境整備事務組合のし尿処理施設の修繕等については、更新するか大改造するか、37年度までに見直すことを検討している。

葬祭場施設については、更新を計画しており、平成29年度から31年度までの3

カ年を予定している。

町民の負担については、三戸クリーンセンター、し尿処理施設及び葬祭場の3施設の更新等の事業費総額は36億4300万円、田子町の負担金の総額は、4億3724万9千円の試算となる。

◎県立田子高校の今後の支援について



●日沢一雄議員

どのような施策を考えているか。国際交流先との交換留学生の受け入れについて伺います。

▼山本町長

田子高校への支援として、学力向上対策及び町外通学者を対象とした通学費補助を目的として340万円ほど助成している。また、全国高文祭への参加旅費の助成として昨年度は100

万円、今年度は200万円をいずれも後援会を通して実施している。

また、ギルロイ市へ中高生の短期派遣を行っており、交換留学制度は、田子高校をアピールするひとつの方策でもあると思う。しかし、交換留学となれば、1年程度の期間にならうかと思うので、保護者の経済的負担も大きくなるため、今後については、町国際交流協会や田子高校などと相談し、研究したい。

宿泊施設についてもこれまで町外からの生徒の受入策として、下宿の確保に奔

走し、大変厳しい状況であり、町で寮を建設するのは財政的には困難であろうと考えている。

◎ふるさと納税について

現在の寄附金の実態、今後の取り組みについて伺います。

▼山本町長

ふるさと納税・寄附金制度は、地方間格差や過疎などによる税収の減少に悩む自治体に対して格差是正の推進及び自らが生まれ育った地域や、関わりが深い地域を応援したい人の想いに応えるために、平成20年度に創設されたものである。

なお、ふるさと納税をした方は、寄附金のうち、2千円を超える額が、現在居住している自治体の個人住民税から個人住民税所得割の概ね1割を上限として、所得税と合わせてその全額が控除される。

また、寄附金を受けた自治体の多くは、ふるさと納税をしていただいた方に感謝の思いを込めて、特典と

して、それぞれの自治体の特産品等を贈呈している。

田子町の現在の寄附金は、平成20年度から平成24年度までの実績として、延べ45人、250万8千円。最近において、平成23年度は、県外5名、県内1名、町外在住町職員1名、合計7名で36万円。平成24年度は、県外5名、県内1名、町外在住町職員9名、合計15名で86万9千円となっている。寄附金の使いみちは、奨学資金として活用している。

町ホームページへの掲載、東京田子会でのPR及び町外在住町職員に対しての呼びかけをし、お返しとしての記念品については、「田子町特産品セット」または「田子町地域振興券」を贈呈している。

また、今後の取り組みとして、募集方法は、従来の方法を強化するとともに、物産展等各種イベントに出向きPRに努め、積極的に推進・奨励していきたいと考えている。



田子高校を訪れたギルロイ市高校生

# 四半世紀にわたる 交流を祝い記念行事

田子町とギルロイ市  
姉妹都市交流25周年

アメリカ・ギルロイ市との姉妹都市提携25周年を迎えた今年、ギルロイ市からアル・ピネイロ前市長をはじめ、ギルロイ市姉妹都市協会役員や2013ガリーリックフェスティバル実行委員長ら16名の訪問団が町を訪れました。訪問団は記念行事や第28回にんにくとべごまつりに参加し、多くの町民と交流し友情を深めました。

10月4日には、姉妹都市提携25周年記念行事として記念植樹と式典が行われました。記念植樹はガリーリックセンター隣のギルロイ通りで行われ、釜淵造園建設株式会社（釜淵一知会長）から寄贈されたあじさい15本を参加者全員で植樹しました。

記念式典は中央公民館で行われ、はじめに山本晴美町長が「この25年間、ギルロイ市と田子町との間には多くの友情が生まれ、強い絆が生まれました。携わってこられたすべての人に感謝し、この絆を友情の架け橋として、子どもたちの輝く未来へつないで参りたいと思います」と式辞を述べた後、記念品の贈呈がありました。



ギルロイ通りにあじさいを植樹



記念の書道アート



ギルロイ市へ贈られた記念の大漁旗



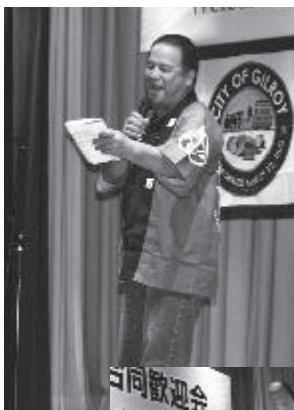
英語でスピーチをする大久保さん



式典では祝いのケーキ



記念スピーチを述べるスミス会長



「立役武多」を熱唱する  
テッド内田さん



もちつきを体験



田子幼稚園による遊戯「カントリーダンス」



各都市の代表者による鏡開き

や、ギルロイ市姉妹都市協会のヒュー・スミス会長、同協会役員のテッド内田さんが、国際交流や25年間の思い出について述べました。また、式典では、これまで交流に携わった多くのギルロイ市の皆さんからのメ

## ギルロイ市との交流のあゆみ

1986年（昭和61年）	日本のテレビ番組「兼高かおる世界の旅」でギルロイガーリックフェスティバルの様子が放送され、町民がギルロイ市を訪問。
1987年（昭和62年）	町職員など4名がギルロイ市を訪問 ギルロイ市から訪問団が来町（市長など12名来町） 田子町出身の高校生3名がギルロイ市にホームステイ
1988年（昭和63年）	姉妹都市提携盟約書に調印（4月18日ギルロイ市議場） ギルロイガーリックフェスティバルを公式訪問（33名訪問） （※以降、田子町ガーリックレディなどが毎年訪問） 初代外国語指導助手にギルロイ市からゲリー・クリフォードさん ギルロイ市から訪問団が田子町ににくとべごまつりに参加 （※以降、ギルロイ市ガーリッククイーンなどが毎年来町）
1989年（平成元年）	ギルロイ高校異文化交流プログラムスタート 第1回ギルロイ高校コーラス部コンサート開催（25名来町）
1991年（平成3年）	初代国際交流推進員グレッグ・ボゾさんがギルロイ市から赴任
1992年（平成4年）	第2回ギルロイ高校コーラス部コンサート開催
1993年（平成5年）	姉妹都市提携5周年記念式典を田子町で開催（ガーリックセンター落成式）
1994年（平成6年）	田子高校生ギルロイ市派遣事業スタート（20名派遣）（※以降、毎年実施）
1995年（平成7年）	第3回ギルロイ高校コーラス部コンサート開催
1998年（平成10年）	第4回ギルロイ高校コーラス部コンサート開催 姉妹都市提携10周年記念式典を田子町で開催（10名来町） 10周年記念ギルロイ市訪問（40名訪問、田子神楽披露）
2001年（平成13年）	第5回ギルロイ高校コーラス部コンサート開催
2002年（平成14年）	田子中学生ギルロイ市派遣事業スタート（10名派遣）（※以降、毎年実施）
2007年（平成19年）	第6回ギルロイ高校コーラス部コンサート開催
2008年（平成20年）	姉妹都市提携20周年記念「テッド内田氏 講演会」開催 20周年記念音楽祭開催（ギルロイ高校卒業生コーラスグループ来町） 20周年記念ギルロイ市訪問（25名訪問） 20周年記念式典・フォーラムを田子町で開催（9名来町）
2010年（平成22年）	ギルロイ市高校生の田子町短期研修スタート（7名来町）（※以降、毎年実施）
2011年（平成23年）	東日本大震災発生。ギルロイ市でも大きく報道され、多くのギルロイ市民から心配と励ましのメッセージ、そしてギルロイ市高校生グループとギルロイ市姉妹都市協会から義援金が届く。
2013年（平成25年）	姉妹都市提携25周年記念「東京多摩交響楽団コンサート」開催（6月、10名来町） 25周年記念ギルロイ市訪問（7月、18名訪問） 25周年記念式典（10月、16名来町）

訪問のべ人数	ホストファミリー（のべ数）	国際交流推進員
●田子町からの訪問 899名 ●ギルロイ市からの来町 432名	●田子町 202家族 ●ギルロイ市 378家族	現在17代目 （メケラ・シーディさん）

（※2013年10月10日現在）

ッセージがビデオで紹介され、記念に用意されたお祝いのケーキの火を吹き消して、これからの末永い交流を誓い合いました。夜には、ギルロイ市と韓

国・瑞山市との姉妹都市合同歓迎会があり、約130名が参加しました。姉妹都市からの訪問団は、記念に贈られた法被をまとい、友人たちとの会話や田子幼稚

園による遊戯などのステージ、もちつき体験などを楽しみました。ガーリッククイーンのリヴィア・エチエヴェリアさんが歌を披露すると、参

加者は会話を止めて聞き入っていました。また、テッド内田さんも飛び入りで演歌「立佞武多」を披露し、会場はたくさんの方々の笑顔と拍手に包まれました。

## 109歳で 青森県最高齢

9月15日で109歳の誕生日を迎えた石井テツさんが青森県の最高齢者となり、入所しているみろく苑で記念品贈呈式が行われました。贈呈式では、山本晴美町長が町からの記念品と花束を手渡し、「109歳でお元気なのは、田子町が平和な証だと思っております。これからもお元気で長生きしてください」と述べました。続いて、みろく苑の職員から感謝状とバースデーカード、ケーキが贈られ、長寿を祝いました。

石井さんは、明治37年9



青森県最高齢の石井さん（前列右）

月15日生まれ。子ども7名に恵まれ、現在はケーブルテレビのわくわくタイムや時代劇、お笑い番組を見るのが好きで、孫が会いに来ることを楽しみに暮らしています。元気でいる秘訣について聞かれると「ご飯をいっぱい食べる」と答えて、ケーキに乗せたらうそくの火を力いっぱい吹き消していました。

7名です。

## 論理的思考で相互理解 『あおもりウイメンズ アカデミー』

9月18日、中央公民館で



町長との意見交換会の様子

あおもりウイメンズアカデミーが行われました。これは、青森県男女共同参画センターの主催によるもので、(株)HRI取締役チーフコンサルタントの内田友美さんを講師に招き、「実践！論理的思考で話す力を身につける」と題して講座があり、9名が受講しました。

講座はグループ討議を織り交ぜながら進められ、相手に納得してもらえようという説明がありました。受講生は「難しい内容だが楽しい」と感想を述べ、有意義な講座となったようでした。また、講座の後には山本町長との意見交換会があり、若者定住や子育て支援などについて活発な意見が交わされました。

## 救助の様子を描き 最優秀賞受賞

9月26日、田子保育園の中山侑久くん（5歳）が、「まちなか防災広場inはっち」の消防図画展で防災協会会長賞を受賞し、その報告に役場を訪れました。中



最優秀賞を受賞した中山君（中央）

山くんの作品は、ヘリコプターから救助活動を行っている様子を描いたもので、約450点の応募の中から選ばれました。中山くんはクレヨンよりもペンや筆といった先の細いもので絵を書くのが得意とのこと、この作品もヘリコプターの細かい部分まで描かれています。

## あおぎんスーパーゴルフ フクラブが図書寄贈

9月26日、あおぎんスーパーゴルフフクラブ（三田善一郎会長）が、町立図書館にスポーツ関連の図書19冊を寄贈しました。これは、青森銀行田子支店の顧客で組織された同クラブが、図

書館の利用促進に役立ててほしいと、チャリティイーグルフロンペ収益金の一部から毎年寄贈しているもので、今回で16回目となります。

中央公民館を訪れた三田会長と青森銀行田子支店の三浦剛支店長は、宇藤裕夫教育長に目録を手渡し、「若い人にもゴルフに親しんでもらうために、今回はゴルフの本も含めました。これからも少しずつですが寄付を続けていきたいと思っております」と述べました。

これまでに寄贈された図書は累計で405冊となり、今回寄贈された図書は図書館の最新コーナーに並べられ貸し出しされています。



図書を寄贈した三田会長（中）と三浦支店長（左）



## ■ 巡回法律相談会のお知らせ

▼日時 11月30日(土) 午後1時から午後5時まで  
12月1日(日) 午前10時から午後1時まで

▼会場 田子町中央公民館

### ▼相談内容

登記相談(相続・贈与等)、  
法律相談(成年後見・多重債務・消費者問題等)

▼費用 無料

問 青森県司法書士会 ☎017-776-8398

## ■ 台風18号により被災された方に対する 県税の減免措置等について

平成25年度台風18号により被害を受けられた方には、県税の特例措置等の制度があります。詳細は下記までお問い合わせください。

問 三八地域県税部 ☎0178-27-5111 (代表)

### ◎ 県税の減免、徴収猶予に関すること

納税管理課 (内線355、356)

### ◎ 申告等の期限の延長に関すること

課税第一課 (内線351)

## ■ 住宅リフォームの補助金申請受付します！

補助率10% 上限額20万円

(耐震性能向上の場合のみ、  
補助率20% 上限額60万円)

新規事業も行います。リフォームをお考えの方は下記までお問い合わせください。

▼受付期限 平成26年1月31日(金)まで

問 役場建設課建設グループ ☎20-7117



## ■ 青森県最低賃金改正のお知らせ

▼時間額 665円(平成25年10月24日から)

詳しくは青森労働局ホームページからご覧になれます。  
(<http://aomori-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>)

問 青森労働局労働基準部賃金室

☎017-734-4114 FAX 017-734-5821

● 広報たっこでは、皆様からの情報提供をお待ちしています。紙面に掲載可能な行事などありましたら、下記までご連絡ください。

役場政策推進課 ☎20-7127

## ■ 田子町立田子幼稚園 平成26年度園児募集要項

1. 募集園児 定員90名

3歳児30名・4歳児26名・5歳児20名

2. 資格

▽3歳児 平成22年4月2日～平成23年4月1日までに生まれた子

▽4歳児 平成21年4月2日～平成22年4月1日までに生まれた子

▽5歳児 平成20年4月2日～平成21年4月1日までに生まれた子

※ いずれも田子町内に在住する幼児です。

3. 願書受付期間

11月1日(金)～11月26日(火)

時間は午前9時から午後5時まで(ただし土・日曜日及び祝祭日を除く)

願書は幼稚園または田子町教育委員会教育課(中央公民館)にあります。

※ 所定の願書に記入のうえ、田子幼稚園へ提出してください。

問 田子幼稚園 ☎32-2340



## ■ 町ではせせらぎの郷の冬期居住サービス 入居者を募集します

この居住サービスは、独立して生活をすることに不安のある高齢者を対象に一時的に居室を提供して高齢者が安心して生活できるように支援します。

入居希望者は次の要件を満たしている方です。

### ▼対象者

① 町内に住所がある、概ね65歳以上の単身世帯、高齢夫婦世帯など

② 自立生活が可能で、地域性や住環境、身体状況等により独立した生活に不安のある方

※ 次の方は入居できません

イ 自立しているが、介助なしでは外出できない方

ロ 階段の昇り降りのできない方

▼居室数 個室8室及び夫婦部屋1室

▼入居期間(予定)

12月1日(日)から3カ月の入居です

※ 必要に応じて入居延長が可能です

▼受付期限 11月6日(水)まで

### ▼その他

入居決定については、調査・審査の後、個別に通知します

問 役場健康増進課(せせらぎの郷) ☎20-7100



■行事等に関するお問い合わせは、田子町教育委員会スポーツ・社会教育グループ (☎20-7070) または上郷公民館 (☎33-1811) までお願いします。

## 平成26年田子町成人式該当者名簿



平成25年成人式の様子

平成26年1月12日(日)田子町成人式を実施します。該当者には11月中にご案内のはがき(往復はがき)をお届けいたします。該当者で町内在住者、町出身者であればどなたでも参加できます。掲載されていない方で参加を希望する方は中央公民館へお申し込みください。

なお、新成人のみなさまから返信用はがきに参加の有無と合わせて「成人宣言」を書いていただいておりますので、お早めにご連絡をお願いいたします。

- ▼向山 新井田早希 ▼衣更 藤田和浩 舛田菜摘
- ▼七日市 釜淵雅大 佐藤誠 中村太一 七日市将斗 宮木祐輝 矢守丘紀 白山さやか 松尾沙也加 山本祥子 ▼矢田郎 勝矢恭平 山崎孝裕 ▼野月 中沢悠真 山市祐太 堰端夏美 ▼野々上 宮村貴幸 山田尊仁 兵庫菜花 矢守楓 ▼袖平 大久保弥波
- ▼清水頭 遠澤公志 千葉知毅 二又雄大 尾形栄衣子 山市瑞樹 ▼千草場 大下彩也香 ▼西館野 遠沢竜也 土川和伸 鳥井本浩位 八戸理行 才川美杜

- 希 田村真澄 足澤いつ菜 山本由香里 ▼上野 櫛引一孝 嶋澤香里 ▼根渡 山本真衣 ▼上風張 青木智哉 梅内捷 中平拓磨 北村聖奈 北村美沙紀
- ▼北側 前田啓介 村上翔 久保佑香里 ▼南側 井畑貴悠紀 小笠原聖祥 ▼中本町 三田詩歩 ▼下本町 山本晴貴 袖村遥 中村有沙 ▼塚ノ上ミ 稲村讓隆 松山尚史 ▼サンモール 尾下達朗 岡崎千明
- ▼雀ヶ平 滝上真也 ▼野面 野端美花 ▼飯豊 田川永一郎 福田修平 ▼原 原田美穂 ▼道地 佐藤誠也 ▼杉本 原由佳 ▼関上 日澤英亨 ▼水亦 富樫佑菜

### 公民館の使用料が改正されました

平成25年10月1日より公民館の使用料が改正されました。内容は、冠婚葬祭における使用料金を新たに設定し町民の利便性を図ったものです。新たな料金設定は次のとおりで、それぞれの施設区分(部屋)における使用料は変更ありません。

#### ●中央公民館使用料(冠婚葬祭、午前9時から午後10時)

- ▽全館 1日当たり 36,750円
- ▽ホール 1日当たり 31,500円
- ▽和室 1日当たり 21,000円

#### ●上郷公民館使用料(冠婚葬祭、午前9時から午後10時)

- ▽全館 1日当たり 31,500円
- ▽ホール 1日当たり 26,250円
- ▽和室 1日当たり 15,750円

※冠婚葬祭の場合、使用区分を指定したときはそれぞれの当該使用区分による使用料の額とします。冠婚葬祭(ホール)または冠婚葬祭(和室)の場合、研修室及び調理室の使用を含むものとします。

## みんなでチャレンジ 公民館講座のお知らせ

### ●神楽講座

『成果発表会及び終了式』

- ▽とき 11月1日(金)
- 午後5時30分～

▽ところ 中央公民館ホール

### ●生花講座

- ▽とき 11月1日(金)
- 午後6時30分～午後9時

▽ところ 中央公民館研修室

▽材料費 1,000円程度

▽持ち物 花はさみ、カッター等

### ●ヨガ健康講座

- ▽とき 11月8日(金)、21日(木)
- 午後7時～午後9時

▽ところ 中央公民館和室

▽持ち物 ヨガマットまたはバスタオル、フェイスタオル等

### ●フラワーアレンジメント教室

- ▽とき 11月26日(火)
- 午後7時～午後9時

▽ところ 上郷公民館研修室

▽参加費 2,000円～3,000円程度

▽テーマ 「クリスマス用アレンジ」

- ▽持ち物 花はさみ、ゴム手袋、移植ペラ、カッター

▽申込先 上郷公民館へ電話で申し込みください。

### ●水曜わんぱくじゅく

- ▽とき 11月20日(水)
- 午後3時～午後5時

▽ところ 上郷公民館 研修室

▽申込 当日受付します



←フラワーアレンジメントの様子



ピザ作りをした水曜わんぱくじゅくの様子→

# 図書館情報

## 本と旅する 本を旅する

読書週間 10/27(日)～11/9(土)



### ●「2013貸出ランキング」特集



秋の読書週間です。図書館では昨年10月から今年9月末までの期間で、貸出の多かった本をランキング形式で約40冊紹介します。この機会にどうぞ図書館をご利用ください。

- 汚れちまった道／内田康夫
- イノセントブルー／神永学
- ▼小説以外
- ローカル線で温泉ひとりたび／たかぎなおこ
- 日本人なら知っておきたい日本文学／蛇蔵
- 人生がときめく片づけの魔法 1, 2／近藤麻理恵
- ビジュアル版ねこ背は治る！

### ▼小説

- 虚像の道化師／東野圭吾
- 北斗／石田衣良
- 神様のカルテ3／夏川草介
- 空飛ぶ広報室／有川浩
- 白ゆき姫殺人事件／湊かなえ



昨年度、本の展示の様子

## 新刊案内

- 歴史
  - ▽黒田官兵衛・長政の野望／渡邊大門／210㌦
- 教育
  - ▽通信教育の大学・短大・大学院 案内2014-2015年度用／379㌦
- 暮らし・料理
  - ▽NHK「あさイチ」スーパー主婦の直伝スゴ技／伊豫部紀子／590㌦
  - ▽きものSalon'13-'14秋冬号／593㌦
  - ▽かんたんがおいしい！／足立洋子／596㌦
  - ▽電子レンジで！ホットケーキミックスのおかず蒸しパン／596㌦
- 歴史・時代小説
  - ▽高砂／なくて七癖あって四十八癖2／宇佐佐真理／913㌦
  - ▽濤(なみ)の彼方／妻は、くノ一10／風野真知雄／913㌦
  - ▽茶葉／交代寄合伊那衆異聞19／佐伯泰英／913㌦
  - ▽明治・妖(あやかし)モダン／畠中恵／913㌦
  - ▽月の雫／藍染袴お匙帖8／藤原緋沙子／913㌦
  - ▽ともえ／諸田玲子／913㌦
  - ▽雛の艦／料理人季蔵捕物控1／和田はつ子／913㌦
- ミステリー・警察小説
  - ▽とっておきの幽霊／怪異名所巡り7／赤川次郎／913㌦
  - ▽よろず占い処陰陽屋へようこそ／天野頌子／913㌦
  - ▽北の街物語／内田康夫／913㌦
  - ▽猫弁と少女探偵／大山淳子／913㌦
  - ▽代官山コールドケース／佐々木謙／913㌦
  - ▽十津川警部日本縦断長篇ベスト選集28／西村京太郎／913㌦
  - ▽十津川警部哀しみの吾妻線／西村京太郎／913㌦
  - ▽祈りの幕が下りる時／東野圭吾／913㌦
- そのほかの小説など
  - ▽水を抱く／石田衣良／913㌦
  - ▽政と源／三浦しをん／913㌦
  - ▽鏡の花／道尾秀介／913㌦
  - ▽しあわせのパン／三島有紀子／913㌦
  - ▽働かないの／群ようこ／913㌦
- エッセイ
  - ▽生きる事はおもしろい／五木寛之／914㌦
  - ▽三谷幸喜のありふれた生活11／914㌦

### ●古雑誌・古本お持ち帰りコーナー

▼期間 10月26日(土)から

※本がなくなり次第終了します。

#### ▼対象

図書館の貸出券をお持ちの中学生以上の方。貸出券がない方は図書館カウンターでお作りください。

#### ▼内容

「きょうの健康」「きょうの料理」「E S S E」「家庭画報」「趣味の園芸」「天然生活」など、図書館で購入し1年が経過した古雑誌は3冊まで、古本は何冊でも差し上げます。カウンターにいる職員にお持ちになる冊数を教えてください。

11月の図書館行事

▼10/26(土) 古雑誌・古本お持ち帰りコーナー

▼10/27(日) 読書週間

▼11/9(土) 午前10時30分 本の読みかきせとしゃかんクラブ (きのこの折り紙)

田子町立図書館 ☎20-7221

図書館の閉館時間

水～土 午前10時～午後6時

日曜日 午前10時～午後4時

図書館休館日

毎週月曜日・火曜日・祝日・第4木曜日(館内整理日)

2013							10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5						
6	7	8	9	10	11	12							
13	14	15	16	17	18	19							
20	21	22	23	24	25	26							
27	28	29	30	31									
2013							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2							
3	4	5	6	7	8	9							
10	11	12	13	14	15	16							
17	18	19	20	21	22	23							
24	25	26	27	28	29	30							

▼色の濃い日が休館日です。

図書館おやすみカレンダー

■警察署コーナー

●高齢者講習の早期受講について

70歳以上の方が運転免許証を更新する場合は、あらかじめ高齢者講習の受講が必要となります。

また、75歳以上の方は高齢者講習の前に講習予備検査があります。

高齢者講習が必要な方には、運転免許証の有効期限の約6カ月前に運転免許センターから「高齢者講習通



■消防署コーナー



11月9日は、「119番の日」です。火災・救急・救助などの119番通報の時は、係員の質問に簡潔に答えるようお願いいたします。

◎119番通報の注意点  
▽「火事」か「救急」の区別をはっきりと言つ。

▽落ち着いて住所(場所)、付近の目標物を伝える。

▽「火事」または「救急」の内容を簡単に知らせる。

▽あなたの名前と、通報している電話番号を教える。

◎携帯電話では次のことに注意してください。

▼三戸消防署 田子分署

問 消防本部指令救急課  
☎0178-44-2135

▽日時 11月9・10日  
午前10時〜午後4時

と、消防車・救急車が出動するまでの仕組みを紹介し

ます。

●高機能消防指令センター  
一般公開(消防本部4階)  
正しい119番通報要領

▽運転時は、安全な場所に停車してから通報してください。

▽通報後、消防本部から問い合わせることがあるので電源を切らないでください。

▼三戸警察署  
田子警察官駐在所



「指名手配被疑者の検挙にご協力を！」

どんなにわずかな情報でも結構ですので、警察に通報をお願いします。

「知書」が発送されますので、通知書が届きましたら、記載されている教習所の中から希望の教習所を選んで早めに予約のうえ高齢者講習を受講してください。

「知書」が発送されますので、通知書が届きましたら、記載されている教習所の中から希望の教習所を選んで早めに予約のうえ高齢者講習を受講してください。

「知書」が発送されますので、通知書が届きましたら、記載されている教習所の中から希望の教習所を選んで早めに予約のうえ高齢者講習を受講してください。

「知書」が発送されますので、通知書が届きましたら、記載されている教習所の中から希望の教習所を選んで早めに予約のうえ高齢者講習を受講してください。

11月の主な保健・介護予防事業予定表

- 11月1日(金) 複合健診(上郷公民館)午前6:30~8:30 受付  
生きがい倶楽部(上郷公民館)午前10:00~午後2:00  
認知症予防教室(せせらぎの郷)午後1:30~3:30
- 11月3日(日) 健康まつり(せせらぎの郷)午前10:00~午後4:00
- 11月5日(火) 健診結果説明会(せせらぎの郷)午前8:30~11:30、午後1:30~3:30
- 11月6日(水) 乳児健診(せせらぎの郷)午前9:30~11:30
- 11月7日(木) デイケア(せせらぎの郷)午前9:30~午後1:00
- 11月8日(金) 生きがい倶楽部(上郷公民館)午前10:00~午後2:00  
認知症予防教室(せせらぎの郷)午後1:30~3:30
- 11月10日(日) 健診結果説明会(せせらぎの郷)午前8:30~11:00
- 11月11日(月) 生きがい倶楽部(せせらぎの郷)午前10:00~午後2:00
- 11月12日(火) 複合健診(清水頭小学校)午前6:30~8:30 受付  
思春期教室(田子中学校2年生)
- 11月13日(水) 複合健診(都市農村交流センター)午前6:30~8:30 受付  
個別接種(せせらぎの郷)午前10:00~10:30
- 11月14日(木) 複合健診(石亀地区研修センター)午前6:30~8:30 受付

- 11月15日(金) 生きがい倶楽部(上郷公民館)午前10:00~午後2:00  
認知症予防教室(せせらぎの郷)午後1:30~3:30
- 11月17日(日) 複合健診(せせらぎの郷)午前6:30~8:30 受付
- 11月18日(月) 複合健診(せせらぎの郷)午前6:30~8:30 受付  
生きがい倶楽部(せせらぎの郷)午前10:00~午後2:00
- 11月19日(火) 複合健診(せせらぎの郷)午前6:30~8:30 受付
- 11月20日(水) 個別接種(せせらぎの郷)午前10:00~10:30
- 11月21日(木) デイケア(せせらぎの郷)午前9:30~午後1:00
- 11月22日(金) 生きがい倶楽部(上郷公民館)午前10:00~午後2:00  
認知症予防教室(せせらぎの郷)午後1:30~3:30
- 11月25日(月) 生きがい倶楽部(せせらぎの郷)午前10:00~午後2:00
- 11月27日(水) 個別接種(せせらぎの郷)午前10:00~10:30
- 11月28日(木) 複合健診(上郷公民館)午前6:30~8:30 受付
- 11月29日(金) 複合健診(せせらぎの郷)午前6:30~8:30 受付  
生きがい倶楽部(上郷公民館)午前10:00~午後2:00  
認知症予防教室(せせらぎの郷)午後1:30~3:30

町の人口

平成25年9月30日現在

世帯数/2243(+4)  
人口/6351(-2)  
男/3039(±0)  
女/3312(-2)  
( )内は前月比です

お悔やみ

- 森 義明(69歳) 中本町
  - 白板さと(91歳) 水亦
  - 小笠原長治(85歳) 茂市
  - 日向清光(86歳) 新田
  - 薬田 繁(93歳) 石亀
  - 松野スミ(94歳) 西館野
- ※( )内は享年、( )のあとは行政区です

TCV(田子町ケーブルテレビジョン)からのお知らせ



- ◎サポートセンター(月曜~金曜 午前9時~午後5時)  
☎0120-557-759(祝日を除く)  
加入の申込・変更・廃止、ケーブルの移設などの際にご連絡ください。
- ◎故障受付(24時間) ☎0120-262-750  
テレビが映らない、などの故障時にご連絡ください。

# 学校の話題 上郷保育園

今年度が始まり、半年すぎました。上郷保育園の子どもたちは、すばらしい自然環境の中、いろいろな行事をとおし大きく成長しています。

今年も、食育の一環として園の畑でいろいろな野菜を育てました。

春、おばあさん、おじいさんに手伝ってもらって植えたジャガイモは大きく育ち、夏の収穫の時期には、おばあさん、おじいさんと一緒に掘りました。

「やすみっこ」として採りたてのいもを、じゃがバターにしていただき、毎日の給食の食材としても大活躍しています。

9月には、広い園庭で運動会を行いました。5歳児7名でのオープンニング。

毎日暑い中練習したカラ



1ガードの演技には、子どもたちの気迫が感じられる、とても立派な仕上がりで見ているお客様の中にも、感動の涙ぐんでいる方もおられ、会からは大きな歓声と拍手をいただきました。

秋晴れの空の下、緑鮮やかな芝生の上で親子で触れ合う、楽しい運動会となりました。

10月に入り子どもたちは、園庭に植えられている、とちの木、どんぐりの木、ナナカマドの木、いちじょうの木、秋を教えてくれる木に囲まれ、季節の変化を身近に感じながら、毎日元気に保育

園での生活を楽しんでいきます。

(原稿・画像提供 上郷保育園)

## 俳句

天高し枝に転がる草ロール

やなた翠芳(孝芳)

大花野送電塔の並び立ち

原 瓢子(徳造)

秋時雨傘一振りの男前

森きよし(清)

小声にて歌う小唄や秋の夜

田畑幸栄

蟻螂の飛んで子供の群れ動く

大矢公江

鶏頭花言葉うばわれ立ち止まる

川村キエ

風向きと読んでしばらく鬼やんま

塚 つや子

湯上がり孫とばしやいで円い月

山本一枝子

思い出と行きつ戻りつ夜長かな

中村慶也(忠元)

とみなへし咲かせ山家の暗からず

原 秋月(菊次郎)

窓明けたららろの声に酔うてとり

佐藤桂水(善太郎)

9月16日の台風18号により、田子町にも甚大な被害がありました。町内各地では大雨の影響による河川の増水や田畑の冠水、地滑り、住宅の浸水といった水害が多発しました。

また、10月9日には台風24号が、16日には台風26号が立て続けに田子町に接近。町では、河川の氾濫等による被害を最小限に抑えるため、土のうを準備するなど対策を講じました。

台風18号は「数十年に一度の大雨」と、台風26号は「10年に一度の台風」といわれるほど規模の大きなもので、特に警戒されました。

田子町は災害に強い地域だと思っていました。今まで経験したことのない大雨などの際には、災害に対する注意が必要なのだと改めて考えさせられました。

(広報担当 清水)

## 編集後記

## ぽんぽんじいさん

JUNKO



## 第28回にんにくとべごまつり



白熱のジャンケン大会

10月5日と6日、大黒森229ドーム周辺で第28回にんにくとべごまつりが開催されました。両日ともに天気に恵まれ、昨年を上回る約9200名が来場し、田子牛の丸焼きやバーベキュー、町の特産品など、田子の味を堪能しました。

今年は、姉妹都市であるアメリカ・ギルロイ市や韓国・瑞山市からのゲストの他、名前が似ていることから交流が始まった千葉県多古町や、昨年の東北



他町村からの出店協力

六魂祭から交流のある宮城県東松島市からも関係者が来町し、一緒にまつりを楽しみました。

ステージでは、田子牛やにんにく加工品の当たる「田子まるごと抽選会」や、飛距離を競う「世界にんにくとばし大会」、的を狙ってにんにくを飛ばす「にんにく射的」といった来場者も参加して楽しめる催しもの他、岩手県野田村から伝統芸能の「なもみ太鼓」が参加し、迫力ある和太鼓を披露しました。

また、出店では昨年に引き続き、階上町、野田村、東松島市が地域ごとの特産品を販売したのに加え、多古町も特産の「多古米」や「やまといも」を販売してまつりに華を添えました。



姉妹都市の韓国・瑞山市（左）とアメリカ・ギルロイ市の訪問団

## 田子の大自然と食を満喫～グルメマラソン～



野菜を集めて目指せゴール！

9月29日、タブコブ創遊村を会場に「第1回たっこグルメマラソン」が行われました。

これは、スポネットたっこ（井畑博明会長）の主催により、田子町の自然と食を楽しむことを目的に「にんにくとべごまつり」のプレイベントとして開催されたものです。

一般的なマラソンでは、スタートからゴールまでのコース内に給水スポットが用意され、ランナーは水分補給しながらゴールまでのタイムや順位を競い

ますが、このグルメマラソンでは、給水スポットに田子産のジュースのほか、町で採れた新鮮な野菜が用意されており、参加者はその食材を順に受け取りながらゴールを目指します。

当日は、町内外から約80名が参加し、いち早くゴールを目指す人や、自然を楽しみながらウォーキングをする人など、参加者は大自然の中、思い思いのペースでさわやかな汗を流しました。

マラソンの後には集めた食材でバーベキューをし、田子牛や町で採れた新鮮な野菜に舌鼓を打ちました。参加者は「ウォーキングで参加したが、もっと長い距離でも歩けた。景色がきれいでおいしいお肉が食べられて楽しい」「来年は仲間も連れてきたい」と述べ、好評のようでした。



運動した後はバーベキュー